



江川、古町の歴史に触れる

11月27日㊤、江川^{かいわい}界限今昔巡りが開催されました。しとしと雨が降る中、参加者の方は、ガイドが説明する様々な時代の話に耳を傾け、驚いたり感心したりしながら江川、古町を巡りました。



雨に負けず、本宮の文化や恵みを満喫

11月27日㊤、本宮^{ほんみや}行政局で第32回こだま祭が開催され、熊野牛などの飲食コーナーや紀州きのくに盆踊り愛好会のステージなどがありました。(20ページでも紹介しています。)



ラジオを聞きながら市街地周辺を巡る

12月4日㊤、ラジオ&ウォーク「闘雞神社・南方熊楠の足跡を歩く」に約200名の方が参加。蟻通神社や高山寺などを巡る約6kmのコースを、ラジオから流れる実況を聞きながら楽しみました。



森の魅力を紙で表現

11月19日㊤、熊野古道なかへち美術館で紙のワークショップ「カミの虫・かみの森^{かみのもり}」があり、参加者は、田辺市出身の紙彫刻家の谷内庸生さんとともに、紙で虫を作って展示し、森を表現しました。



学んで楽しむ！生涯学習フェスティバル

11月26日㊤・27日㊤に、市民総合センターで、「学びからはじまる人づくり・地域づくり」をテーマに生涯学習フェスティバルが開催されました。このイベントは、田辺市学びの日である11月第4㊤に毎年開催しています。

両日合わせて、発表・体験・販売など約50のイベントを実施。子供からお年寄りまで、多くの方でにぎわいました。

参加した方たちは、「毎年来ています。子供たちも展示品を見て楽しんでいました」「ハンドエステが、リラックスできて良かったです。そういう出し物をどんどんしてくれたらうれしいですね。来年もまた来たいです」と話してくれました。



木に親しむ催しがたくさん

11月19日㊤～23日㊤、龍神村で今年も翔龍祭が行われました。

19日㊤・20日㊤の龍神林業まつりでは、龍神材でこだわりの犬舎を作る「子ども大工体験教室」のほか、木のブロック遊びや木くずのプールなど、木のぬくもりを感じられるコーナーに、多くの親子連れが訪れていました。

19日㊤～23日㊤の村民文化祭では、地元の小・中学生による民謡や舞踊の発表などが行われました。また、龍神村在住の芸術家や文化サークルのメンバーなどによる作品展も行われ、絵画や書・ちぎり絵など、プロ・アマを問わず多くの力作が展示されました。